

荒瀬ダム地域対策協議会に係る個別検討部会議事録要旨

- 日時 平成29年5月18日(木) 10:00~11:30
- 場所 八代市坂本支所2階会議室
- 出席者
  - ・ 地元委員：早瀬委員、橋本委員、森下委員、蓑田委員、上田委員
  - ・ 八代市：企画振興部 坂口政調  
企画政策課 田中課長、西村補佐、宇田係長、森下主任  
坂本支所 久木田課長
  - ・ 熊本県：県南広域本部振興課 永松課長  
工務課 高本主幹、園田参事、  
企業局 松岡次長、山内室長、竹野主幹、田中主幹、野間主幹、  
田島主幹
- 配布資料
  - ・ 会議次第
  - ・ 河川への降り道について【資料1-1、1-2】
  - ・ 遺構としてのダム及び記念碑について【資料2-1、2-2】
  - ・ 「さかもと地域づくり計画」(案)について【資料3】

1 開会、挨拶

- 2 議題(1) 遺構としてのダム及び記念碑について  
事務局から撤去工事概要についてパワーポイントや動画により説明

【質疑】

- (委員) (今夏、道の駅坂本前の河川敷でアユやなの設置を予定しているが、現在の川の流れが左岸側となっているため) 右岸部を残すことで、みお筋部の流れが左岸側に跳ね返ることにならないか。
- (企業局) ダム建設時に、山側に切り込むような形で堤体を造っており、右岸部を残したとしても川の流れは阻害されず、左岸部に跳ね返ることはないものと考えている。
- (委員) 渇水時はそうであろうが、増水時にその部分が支障となって、そこから跳ねて、川の流れが左岸側に集中する結果、土砂が右岸側に堆積することにならないか。
- (企業局) ダム撤去に伴い、ハイウォーターが従来よりも下がり、取水口の下あたりに位置するのではないかと想定しており、右岸部を残したとしても、流れの支障にはならないと考えている。また、これは平成24年の5千トンクラスの増水時の写真であるが、増水による濁流が右岸部を激しく洗っている。今回、右岸部を残すことでこのような増水時の水勢を減ずる効果もあるのではないかと考えている。
- (委員) 確かに、右岸部を残すことで下流の護岸を保護する役割を果たすことになるものと思われる。
- (委員) 先日の1500トン程度の増水時に、右岸側に溜まっている土砂が流れるのではないかと考えていたが、かえって堆積が増したように思われる。川に流れは今後どのようなようになるのだろうか。
- (企業局) 様々なデータから判断すると、現状において、ダム建設前の河床の高さに戻ったのではないかと推定しており、今後大幅な変動はないのではないかと考えている。なお、現段階でダム上流部における土砂の大きな堆積は見られず、5千トンク

ラスの大きな増水が来た場合は、下流部における堆積も減ずる傾向にあるのではないかと想定している。

(委員) 大門のカーブしている箇所は、平常時、どのように流れるのか。

(企業局) 道の駅の辺りでは左岸側を流れることとなる。

今回、撤去の範囲を少し変更し、ダムの一部を遺構や記念碑という形で残すという提案をさせてもらった。今後、国交省、漁協など関係機関と調整しながら、秋頃の工事着手前には方向性を導きたいと考えているので、よろしく願いたい。

(委員) 資料にある右岸側の立ち入り禁止用のフェンスは少しみずぼらしい印象があるので善処願いたい。

(企業局) 今回示したのはあくまでイメージであり、フェンスの仕様等詳細については今後詰めていく予定である。

### 3 議題(2) 河川への降り道及び(3)「さかもと地域づくり計画」(案)について 事務局から資料に基づき説明

#### 【質疑】

(委員) ポートハウスを利用した川遊びなどを行うためには、再三申し上げているが、ポートハウスの斜路が必要となる。この点についてどのように考えているのか。

(企業局) ポートハウスの斜路については、ポートハウスをどのように活用していくかということがその前提にある。一方、前回の地域対策協議会において、座長から次回の協議会までにはポートハウス及び斜路について結論を出すようにとの指示があり、これを受け、県・市で検討を進めているところ。この点について、市の方からも説明をお願いしたい。

(八代市) ポートハウスについては水が供給できないことを主要因に閉鎖しているが、その後の調査で、新たにシロアリの問題が見つかるなど現状のままでは使えないと考えている。従って、補修しなければ使えないということであるが、補修に当たったコスト面も含め、どのように使っていくのかという検討を進めているところ。地域づくり計画で提案された活用方法を中心に検討を進めている。

(委員) ポートハウスの件は相当長引いているが、課題であった水の問題も目途が立ちつつあるため、もっとスピード感を持って対応してほしい。

それから、斜路の関係で、葉木橋下流の斜路の復旧はどうなっているのか。

(企業局) 当該斜路が被災した原因は、対岸の巨石から跳ね返った流れによるものであるが、現在の設計のまま修復しても同じ結果となるため、設計を見直し、なだらかであった従来の勾配を少し急にすることで水の影響を避けられるのではないかと考え、斜路の設計について八代市と協議をしてきた。市からは、勾配が急であるため車両の取り回しなどに支障が生じるとの意見が提起され、結果、これまで協議が整わず、工事に着手することができず今日に至った。出水期には施工できないため、出水期終了後、復旧に向けた工事に着手していきたいと考えている。

(委員) いっそのこと当該斜路はあきらめて、ポートハウスの所に造った方が良いのではないか。経費もそう変わらないのではないか。

(企業局) 一つ一つ整理していく必要があるものとする。

(委員) 八代市としてもそういう方向で検討してもらいたい。

それから、地域づくりに関し、坂本住民自治協議会が受け皿とされているが、補助金等の支援はあるのか。

(企業局) 補助金等は考えていない。計画の中にコミュニティビジネスとあるように、

- 自立して活動してもらいたいとの思いがある。
- (委員) 住民自治としては、お金が乏しい中、何とかやっているというのが現状であるため、補助金等について考えてもらいたい。
- (企業局) 金についてはいかんともしがたいが、人的支援ということであれば、現在の地域づくり部会のメンバーが今後の住民自治協議会の一翼を担っていくという体制は徐々に整いつつあるものと考えている。やはり、地域が自立・自活してやっていくということが目的だと思われるので、それを目指してやっていてもらいたいと考えている。
- (委員) 発電所の解体工事はいつ頃までを予定しているのか。
- (企業局) サージタンクや夕葉寮の解体も含め11月頃までを考えている。
- (委員) ダム下流のアユ見館はどうなるのか。
- (企業局) アユ見館は国交省所管の施設であるが、今後についてはまだ決まっていないと聞いている。
- それから、今回整備した葉木地区の階段について段差がきついということであるが、手すりをつけることで安全が確保されるのではないかと思われる。委員の考えをお聞きしたい。
- (委員) 以前の話では手すり設置については国交省が難色を示すということだったと記憶している。確かに、手すりがあれば安全であり、可能であれば付けてもらった方が最良と思う。
- (企業局) 結果は分からないが、一度、国交省に当たってみたい。
- (委員) 旧県道跡の整地は6月に着手とのことであったが、葉木地区では、9月2日に今年で2回目となる灯籠流しを計画しており、それまでに完了してもらえればありがたい。
- (企業局) 地域づくり部会の試行事業(川遊び)もその日を第1候補に予定されており、間に合うかどうか約束はできないが、施工業者に相談してみたい。
- (委員) 佐瀬野第1踏切からダムまでの中津道八代線について、ダンプの通行で損傷がひどく、雨天時には水が溜まり通行にも支障を来す程となっているが、舗装工事は行うのか。
- (企業局) ダム撤去工事が終わった段階で最終的に仕上げたいと思う。
- それから、ダム右岸部の一部を遺構として残すということについて、地元委員におかれては、御賛同いただいたと理解してよろしいか。
- (委員一同) 了解。

〈以 上〉

## 荒瀬ダム地域対策協議会に係る個別検討部会議事録要旨

- 日時 平成29年11月14日(火) 13:30~14:30
- 場所 八代市坂本支所2階会議室
- 出席者
  - ・ 地元委員：早瀬委員、橋本委員、森下委員、蓑田委員
  - ・ 八代市：企画振興部 増住次長  
企画政策課 西村補佐、宇田係長、森下主任  
坂本支所 福島支所長  
坂本建設地域事務所 中川所長
  - ・ 熊本県：県南広域本部振興課 齊藤参事  
工務課 高本主幹、園田参事、  
企業局 松岡次長、山内室長、竹野主幹、田中主幹、野間主幹、  
田島主幹
- 配布資料
  - ・ 会議次第
  - ・ 荒瀬ダム撤去工事概要について【資料1】
  - ・ 地域課題への取組状況について【資料2】
  - ・ ポートハウス及びポートハウスの斜路の整備について【資料3】
  - ・ 球磨川架橋(代替橋)について【資料4】
  - ・ 要望書への対応状況(総括表)【資料5】
  - ・ 地域づくり部会報告【資料6】
  - ・ 荒瀬ダム撤去地域対策協議会について【資料7】

### 1 開会、挨拶

### 2 議題(1) 荒瀬ダム撤去工事概要及び環境モニタリングの状況について 事務局からパワーポイント及び動画により説明

#### 【質疑】

(委員) 以前は、右岸側が本流になると説明されていたが、この点についての見解を聞きたい。

(企業局) 今後、左岸側に連続した洲が形成されることを期待している。道の駅さかもと付近は昔と異なり、護岸がコンクリートで整備され流速が速くなったため、中々、洲が形成されにくい状況にはあるが、徐々にではあるが堆砂が確認されてきており、今後注目していきたい。河床はダム建設前の高さに戻っており、洲が左岸に付くのか、右岸に付くのかということかなと考えている。

(委員) それから、ポートハウス下流の旧県道跡の整地について、ポートハウスの所から松川商店までの間ということであったが、現在は、途中までとなっている。

(企業局) 9月2日に開催された地区の精霊流しのため、当面に対応として、ポートハウス直下から途中の沢までに間の整地を行った。本年度内に残る区間についても整地を行いたい。

(委員) 藤本発電所跡地はどうなるのか。

(企業局) 購入希望があれば良いのだが、これまでそのような話は聞いておらず、当面は更地として管理していくことになる。

3 議題（２）荒瀬ダム撤去に伴い地域課題への取組状況について  
事務局から資料に基づき説明

【質疑】

- （委員）親水護岸的な河川への降り道として整備いただいた葉木地区の階段について、最後の一段の段差がきつすぎるため何らかの対策を検討してほしい
- （企業局）現場を確認させてもらいたい。
- （委員）折角ここまで整備してもらったので、よろしくお願ひしたい。
- （委員）それからボートハウスの斜路について、県は財政支援を行うとのことだが、早期の整備に向け、力添えをよろしくお願ひしたい。
- （委員）代替橋について、協議を終了するということであるが、今後この問題については一切協議しないということか。
- （企業局）次の議題として予定している地域対策協議会の終結と関連するが、協議会での代替橋に係る協議は閉じるべき時期に至っていると考えている。
- （委員）県南広域本部を窓口とするとあるが、地元としての要望がまだ強い場合、そこに持ち込んでも良いということか。
- （企業局）窓口として、そのように考えている。なお、今の御質問は議題（３）と関係するため先に資料を説明させてもらい、その後また意見をお聞ひしたい。

～資料説明～

【質疑】

- （委員）１１月２４日に開催予定の第１４回協議会が最後の開催となるのか。
- （企業局）協議会の設置は本年度内となるが、次回の第１４回が事実上の最後の開催になるものと考えている。
- （委員）以前、別の委員が提案していたダムの記念碑はどうなったのか。
- （企業局）委員の意見を踏まえ、フォローアップ専門委員会の意見を伺ったところ、新たに記念碑やモニュメントを造るよりもダムそのものを記念碑として捉えてはとの助言をいただき、今回、右岸を残し、左岸部も含め公園化などの周辺整備を行うこととした。なお、ダムの功績など歴史的な部分に関しては、案内板を設置することで対応していきたいと考えている。
- （委員）五木村頭地の川辺川ダム予定地に大変良い案内板がある。参考にされては如何か。
- （企業局）参考にさせていただきたい。

〈以 上〉